

8

牧野組合毎の 野草地環境保全計画（牧野カルテ）作成支援

- 実施主体 環境省九州地方環境事務所
- 実施場所 阿蘇市一の宮町舞谷牧野、阿蘇市山田中部牧野、阿蘇郡南阿蘇村下野牧野、阿蘇郡産山村上田尻牧野
- 実施期間 平成27年5月～平成28年3月



◇背景・ねらい

阿蘇郡市内の牧野において、牧野内の野草地の現状、過去から現在に至るまでの植物の変化や牧野の利用・管理状況の変化、牧野における地名やその由来等を調査し、草原とその利用・管理状況を把握し、牧野組合の今後の利用・管理の目標を設定する。

牧野カルテ作成支援の取り組みは、平成17年度より毎年3牧野程度で実施し、「野草地環境保全計画」を作成してきた。計画に基づき、野焼きや輪地切り等の維持管理作業の労力軽減や安全性の向上に向けた事業を環境省・各市町村連携で進めている。

◆実施概要

- ・各牧野の事情に詳しい組合員・長老などと意見交換会やヒアリングを行いながら、牧野内の地名（呼び名）、牧野の利用・管理状況、動植物・昆虫の生息状況等の情報を収集するとともに、現地調査を行い現在の牧野の状況を調査し、今後の牧野を維持管理するために必要な管理方針や課題を整理したうえで整備計画を決定する等牧野カルテの作成支援を実施。



下野意見交換

◆実施体制

- ・牧野組合、学識経験者、受託者（阿蘇GS）と連携を図り意見交換、ヒアリング調査、現地調査を行い野草地保全計画書を策定。



上田尻ヒアリング

◆成 果

- ・牧野の現状、地名の由来や過去の管理状況等を知ることで、各牧野組合の草原維持の啓発に寄与。
- ・平成17年度から27年度までに36牧野組合において実施。
- ・牧野地域の情報を収集するとともに、各牧野における課題を抽出し、整備方針を盛り込んだ「野草地環境保全計画書（牧野カルテ）」。
- ・草原再生・牧野の歴史継承等に係る重要な資料となっている。



山田中部現地調査

◆実施者の感想

- ・学識経験者・受託者（阿蘇GS）を交えながら牧野組合員との直接的な意見交換・ヒアリング・現地調査等交流により、率直な意見交換が可能となっている。
- ・計画のとりまとめに当たり、牧野組合の意見・考えが十分に反映でき、牧野の歴史等が資料として継承していくことに寄与するものと考えられる。



舞谷現地調査